

匠の技術にふれたくて知っているようで知らないものづくりの現場を訪ねました。

# 大人の社会見学

「水族館以上、である」とをテーマ

## 楽しさを生み出す裏側へ 水族館の飼育員

海の世界のバックヤード見学  
マリンワールドで働く人の  
努力が光る舞台裏



イルカ1頭につき2人のスタッフが担当。体温測定などのデータをとってお互いが状況を把握できるようにしている。イルカたちはエサから水分を補給するので、エサに水を加える「補液」も大切な作業。



口のおきさによってエサのおきさを変えて与えている。週に1度、栄養面を考慮して海藻の代わりにレタスや小松菜を与えることもあるとか。

### DATA

■城崎マリンワールド(日和山観光株式会社)  
豊岡市瀬戸1090 TEL.0796-28-2300  
◎9～17時 ◎年中無休  
◎大人2,470円 小人1,230円 幼児620円  
<http://marineworld.hiyoriyama.co.jp/>

兵庫県豊岡市日和山海岸にある  
海の水族館「城崎マリンワールド」。

「水族館以上、である」とをテーマに、様々なアトラクションで驚きと楽しさを提供している同園だが、一見華やかに見える水族館スタッフは普段どのような仕事をしているのだろうか。

まず案内されたのは、イルカをはじめアシカやペンギンたちと人が一体となったショーを見せてくれる「シーランド」。

トレーナーの1日は、朝の発声練習から始まり、エサづくりと給餌、生き物たちの体調などの情報共有をしつかり行い、ショー本番へ臨む。さらにショーの間には、ジャンプなどのトレーニングもあり、裏舞台を駆け回っている。

冬場は気力と体力が勝負である。「1つの技が完成した時はうれしいですね。それを披露してお客様から拍手をいただいた時はほっとします」とは、飼育員の川田さん。イルカがしっかりと理解して行動しているか顔つきを見ると分かるのだという。

また、ショーの内容もメリハリのあるストーリー性にこだわり、自分たちで内容も変えているので、今後も楽しみたい。

次に案内されたのは、淡水性・海洋魚類のほかアザラシなどの海獣類を見て感じて楽しめる「シーズー」。

シーズーには、国内の水族館で最も深い水深12メートルのメイン水槽の他、地元日本海に生息する松葉ガニ

やハタハタなど、私たちが普段食卓で目にする魚たちの飼育も行っている。「大きい魚だけではなく小さい魚や隅にいる魚も注意して観てください。よく観るとおもしろい発見がありますよ。ぜひ現地で見つけてみてください」とは、飼育員の大津さん。いろいろな種類の魚がいる水槽では、小さい魚にもエサが行き渡るよう、形の違うエサを与えるなど工夫している。

1番気を配っているのはスタッフの口を揃えるのは、生き物たちの健康管理。毎日のエサやりやコミュニケーションを通して、個々の異変をすぐに気づいてあげることが大事だという。

動物たちが元気な姿で私たちに楽しませてくれるのは、スタッフの努力と大きな愛情のおかげだと感じた。

城崎マリンワールドから車で1分  
菜の花、春キャベツ、かまぼこスイーツなど  
春の訪れを感じる天ぶらがズラリ!

ネット予約も受付中です。

**三 三 三**  
兵庫県豊岡市瀬戸757-1  
TEL.0796-28-3121  
9:00～17:00 土曜定休

三方蒲鉾 検索 <http://www.futakata.co.jp>

Small discoveries in the big ocean.

「バックヤードツアー」毎日開催  
**城崎マリンワールド**  
城崎マリンワールド 検索

# ぷらっとミュージアム

知っているようで知らない、あなたの町のミュージアム。お散歩がてら、ぷらっと寄ってみませんか？



寄宿していた門人たちが使用していたトイレ。10時の消灯後、トイレの戸にロウソクを立てて勉強していたそう。その焦げ跡が「今でも残っている。」



「この隙間をチェックしてみよう」

1977年に青谿書院が開かれた。記念に門人たちが植えたマミの木

## Vol.8 青谿書院



池田 草庵

Soan Ikeda  
1813 ~ 1878

兵庫県養父市八鹿町宿南に生まれた青谿書院の創設者。名を禎蔵(ていぞう)という。幼い頃の名は歌蔵。但馬が生んだ偉大な儒学者で但馬聖人と呼ばれた。19歳の頃、京都へ出た草庵は儒学者・相馬九方(そうまきゅうほう)に入門。儒学を学び、ついには日本を代表する陽明学者へと成長する。31歳で八鹿へ帰り、立誠舎を開く(平成22年に改修工事され、養父市八鹿町八鹿に現在も残っている。見学は八鹿地区自治協議会 / TEL.079-662-8778)。35歳の頃、宿南にて青谿書院を開き、子弟教育に励む。門下生から日本の近代化に貢献した明治・大正のリーダーが多数輩出された。豊岡藩の指導者として藩校稽古堂にも招かれ、藩主と家臣一同の前で講義を行っている。

琵琶湖疏水を開いた行政家  
**北垣国道** (1836~1916)  
養父市能座生まれ。当時の名前は晋太郎。生野美挙に参加。その後は長州に逃げ、坂本龍馬、勝海舟などと交友があった。京都府知事となり、在任中、琵琶湖の水を京都市に引く疏水工事を完成させたことで有名。

金融産業界の中核的存在といえる活躍  
**原六郎** (1842~1933)  
朝来市佐中生まれ。当時の名前は進藤俊三郎。生野美挙に参加。アメリカへの留学後、第百国立銀行頭取や横浜正金銀行頭取として活躍し、日本の外国貿易金融の基礎を築いた。金融界だけでなく鉄道事業にも尽力した実業家。

草庵の教えのひとつ『独りを構む』  
草庵は慎独(しんとく)を身も修める根本と考えた。



慎独のための工夫が黙坐と静坐です



7歳の時に草庵先生の元へ...

「ぼくたち青谿書院で学びました！」



11歳の時に草庵先生の元へ...

慎独とは自分が一人でいる時でも心を正しく持ち、行いを慎むこと。  
黙坐...無言で座っていること。  
静坐...心を落ち着けて静かに座ること。  
他にも、清掃、行儀、作法を大切に、言葉や行いを慎む『修養法』も重んじた。

### 青谿書院

●県指定文化財  
[所] 養父市八鹿町宿南 171(見学自由)  
\*青谿書院資料館の見学は事前に連絡が必要  
TEL.079-662-4378  
(青谿書院保存会会長 池田哲二さん)  
協力: 養父市教育委員会

教育者・吉田松陰の妹を中心に描いたNHK大河ドラマ『花燃ゆ』で話題の幕末。この時代、但馬でも「但馬聖人」と呼ばれた儒学者・池田草庵が私塾を開き、多くの若者たちに学問を説いていた。全国から集まった門人の数は673人にのぼり、日本の近代化を担った人材を輩出した。養父市八鹿町宿南。ここは草庵の生誕地として知られており、集落の西側には草庵が開いた私塾「青谿書院」がひっそりと佇んでいる。江戸時代の私塾が当時のままの姿で残っているのは、兵庫県内でも唯一。草庵はここで門人たちと寝起きを共にし、自らの実践により、知識と実行を兼ね備えた人間の育成を行った。中に入ると、畳敷きの講義の間が広がる。静寂さに包まれた学舎内に座り、心を落ち着かせてみると、門人たちの熱意や志、息づかいが今なお漂っている。すぐそばにある「青谿書院資料館」には、草庵の遺品、著書、関係資料が数百点展示されている(要予約)。

### 3月10日発売

120g ¥850(税込)



- VERT -

ピリリと効いた朝倉山椒の爽やかな香りが広がります

- ROUGE -



但馬の素材で但馬の美味しさを発信する『タジマキッチン』

### 朝倉山椒のタップナード

野菜、魚介、肉など、さまざまな素材との相性が良く、幅広いジャンルの料理に手軽に活用できる南フランス発祥の万能調味料です。



兵庫県養父市大塚22-1 TEL:079-665-0801  
www.katashima.co.jp/riviere

オンラインショップでもご購入いただけます。

ラ・リビエール

検索

